

1年次の「学級づくり合宿」2 -WRとクラパフォー-

5月21日(月)～5月23日(水), 2泊3日で実施した1年次の「学級づくり合宿」第2日目。午前中の「ウォークラリー」と、宿舎で夕方実施された「クラスパフォーマンス」の様子です。記事は、生徒実行委員さんに書いてもらいました。

2日目 ウォークラリー・クラスパフォーマンス

鴨川合宿の中でも印象的だったウォークラリー。そこで学んだことはまず、先入観で人を判断しないこと。そして**直接人と話すことの大切さ**。自分の目で見て耳で聞いて、五感で感じた経験に基づく情報に勝るものはないのだということです。

ウォークラリーに出発する前、班の中には入学以来、なんとなく話す機会のなかった人、少し話しづらいなと思っていた人もいました。最初はぎこちなかったのですが、**鴨川の大自然が会話を後押ししてくれました**。木の実を食べては食しポしてくれる姿に大爆笑。時間が遅れても確実に問題を解いていくみんなの姿勢。メンバーの素顔を知るたび、**どんどんみんなのことが好きになっていく**。それはきっと、誰かから、「あの人はこんな人だよ」「へーそうなんだ」という会話だけでは決して分からなかったことだと思います。

また、**クラスパフォーマンス**では、どのクラスも、ついこの前練習を始めたばかりだったとは思えないほど、面白い発表の連続で盛り上がりました。パフォーマンスの内容は、**クラスのよい所の紹介**です。短い時間にまとめて工夫された発表に、みんなも**大爆笑**。友達や他のクラスの**新しい魅力を発見**できました。

わたしたちの周りには情報が溢れている。でも**一番の情報は自分自身で経験して感じる**こと。直接話をする**ことの大切さ**。そのことが身にしみてわかったウォークラリーとクラスパフォーマンスでした。これから先、日々の学校生活の中でも様々な情報に接することでしょう。それらを鵜呑みにせず、この鴨川合宿で得たことを生かして、**先入観を持たずに自分の五感で判断したい**と思います。

